

鳥取ふれあい共生ホーム  
てるひ

# 照陽の家だより

「地域とつながるリハビリを目指して」

平成30年 6月15日

〒683-0812

米子市角盤町3-124-3

TEL 0859-21-8151

作業療法士 岡野元明

6月に入って雨が降ることが多くなり梅雨を感じる季節になりました。4月から地域密着型サービス 看護小規模多機能型「照陽の家」の仕事に携わらせて頂き2カ月が経ちました。照陽の一職員として日々、一生懸命仕事に取り組ませて頂いていますが、今まで携わっていなかった介護などの仕事が多く慣れることに精一杯です。以前、働いていた医療機関とは環境がまったく違うため、地域の中で暮らしていく上でのサービス支援についていつも学ばせて頂いています。また、現在、働いている中で照陽の家での作業療法士としての役割について深く考えることが多くなりました。医療機関から退院、退所され当施設を利用される方が住み慣れた地域でも継続してリハビリテーションが受けられる体制をしっかりと整えること、そのためには各機関の多職種協働がスムーズに出来、そして住み慣れた地域で、またご自宅で利用者さん自身がその人らしく生活が出来るような体制を微力ながら作り上げる努力をしていきたいと感じました。まだ作業療法士としてだけではなく社会経験が少ない自分ではありますが、地域に根付いたリハビリテーションが提供できるよう頑張っていきたいと思えます。

照陽の家は5つのサービスが提供出来る体制になりました。



リハビリスタッフが看護師と共に  
「家で暮らしたい」思いをサポートします！

照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



## 照陽の家の日常

照陽の菜園に夏野菜のナス、ピーマン、トマト、かぼちゃ、を植えました。昨年から植えていた、苺、春菊等も豊作で、今年は豊作が期待できそうです。利用者様も楽しみが増えたと言っています。日本の伝統行事笹餅を作り出すと皆さん体が覚えていてすごく上手に作られました。



子どもたちも照陽の家に慣れ、おじいちゃん、おばあちゃんに甘えるようになりました。ほっこり温かな「気」が嬉しい照陽の家です。

## ひなたぼっこ保育園

米子市認可地域型小規模保育所



鳥取自然環境館でやぎにえさをやりをしました。最初はこわがりながらでしたが、「やぎ可愛いね」と言えるようになりました。帰りに清願に寄りました。突然の訪問でおじいちゃん、おばあちゃんは大喜び、歌をうたったり、「かわいいね」と褒めてもらい楽しい時間が過ごせました。

照陽の家には訪問看護ステーションハートケアがあります。

訪問看護とは看護師がご自宅を訪問し、看護ケアを提供し、療養生活を支援するサービスです。

## 訪問看護ステーション ハートケア

食中毒について

食中毒を引き起こす原因は「細菌」と「ウイルス」です。細菌は温度や湿度などの条件がそろって食べ物の中で増殖し、その食べ物を食べることにより食中毒を引き起こします。ウイルスは食べ物を通じて体内に入ると、人の腸管内で増殖し食中毒を引き起こします。細菌が原因となる食中毒は夏場（6月～8月）に多く発生。ウイルスが原因となる食中毒は冬場（11月～3月）に多く発生します。◎腸管出血性大腸菌（O157など）：牛、豚などの家畜の腸の中にいる病原大腸菌の一つで腹痛、下痢、出血性下痢を引き起こします。◎ブドウ球菌：自然界に広く分布。手や指に傷があったり傷が化膿している場合は食品を汚染します。汚染した食べ物を食べると3時間前後で急激に嘔吐や吐き気、下痢を起こします。◎ノロウイルス：口から体内に入ることによって感染し、腸の中で増殖し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。感染した人の手やつば、糞便、嘔吐物などを介して二次感染しやすいです。

今月の言葉

まず、相手の人の話を聞きなさい  
相手の求めに応じなさい 自分のことは後回しです  
そうすれば相手も あなたの言葉に 耳を傾けるでしょう

～葉 祥明～